

パリ マーケット NOW

1. 2011 年秋冬コレクショントレンド

DIOR のジョンガリアーノの騒動に始まり、その後継者の予測が飛び交った今回のコレクションウィーク。大きなキーワードはでてきませんでした。春夏のカラーの復活に続き次の秋冬は素材ミックスが重要なキーワードです。ウールとファー、シフォンとフランネルなど、全く異なった素材をあわせていく面白さに注目が集まりそうです。

2. 今シーズンの「merci」のメッセージは「藍染め」

毎シーズン新鮮なメッセージを提供してくれるパリのセレクトショップ「merci」の今シーズンの提案は「藍染め」でした。お店の前で藍染めのパッチワークのカバーにくるまれたフィアットが出迎えてくれます。店内に一步はいると天井から藍染めで作られた鳥がたくさん下がっていました。藍染めもこんな感じでこなすと変に和っぽくなく新鮮です。伊勢丹の解放区での展開も大成功をおさめた「merci」。彼等の常に時代のムードにあった提案、それに対する商品調達、そして店頭でのVMDまでの一貫性。ぜひ日本の小売りも見習って行きたいものです。

3. パリ左岸に新しくオープンした「Hermes」

パリの6区「ボンマルシェ」のすぐ近くにオープンした「Hermes」が今パリで最も大きな話題の1つです。サントノーレの本店とは異なりほとんどバッグ類はありません。もともと古いプールだった建物をリニューアルしてオープンした店舗ですが、まず入り口を入るとお花の売り場が出迎えてくれます。長年エルメスのお花を手掛けていたフラワーアーティストの売り場です。そこを進んで行くと白木でできた大きな囲いの中に商品が並べられています。エコ時代の象徴とでもいえるのでしょうか。商品はインテリアグッズやリビンググッズが中心です。そして上のフロアーにはオープンカフェが併設されていてそこでは素敵なマダム達がおしゃべりに興じていました。今までブルジョワの右岸のイメージが強かったエルメスですが、インテリジェンスのイメージが強いここ6区では全く新しい民主化したエルメスの店を展開して見せました。今最も新しいコースーな感覚をそのまま実践している店です。販売員の方達もサントノーレの高飛車な態度とは打って代わり皆とても感じがよく親切です。これこそが老舗エルメスが提案する今の時代の本物のラグジュアリーなのでないでしょうか。

4. HOTEL ROYAL MONCEAU

凱旋門から伸びている Av Hoche に立つパリ老舗のホテルロワイヤルモンソーがリニューアルオープンして今パリでは話題です。ロワイヤルモンソーは1928年の開業以来世界中の要人達が宿泊してきたホテルですが、防火体制の不備により2007年営業停止になり2008年より改装を始めました。フィリップスタルクが手掛けた内装はこれまでの彼のスタイルとは全く違い、とてもコースーな雰囲気です。天井が高いカフェとバーでゆったりと過ごす時間は格別です。今は変にゴージャスにするよりも、質の高いコースー感が新しい流れです。ただしさすがスタルク、2階の化粧室に行く階段はスタルクスタイルその物で、シャンデリアと鏡のマジックでおとぎの世界に入った様な気分させてくれます。

37 Av. Hoche 75008